

## 技術・家庭科（家庭分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                      ○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするため、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b>                      ○調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して学習することにより、習得した知識及び技能を生徒自らの生活に生かすことができるようにするために、どのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等、資料と本文の関係及び資料のレイアウトには、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○家庭分野における学習方法の特質である衣食住などに関する実践的・体験的な活動を安全かつ効果的に進めるために、どのような工夫が見られるか。 ○タイトル・見出し・説明文などの使い方には、どのような工夫が見られるか。 ○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方には、どのような工夫が見られるか。	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<p style="text-align: center;"><b>新しい技術・家庭 家庭分野</b> <b>自立と共生を目指して</b></p>	<p style="text-align: center;">2 東 書</p>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いつも確かめよう」で基礎的な技能がまとめて掲載され、基礎的な知識・技能が習得できるように工夫がされている。</li> <li>○各編の最後に「学習のまとめ」、「大切な用語の確認」が掲載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的な知識・技能が習得できるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校で学んだことが示してあり、学びの系統性が一目で分かるようになっており、各編の導入では、課題設定が記入できるように工夫がされている。</li> <li>○家庭分野の見方・考え方の例が示してあり、問題解決に生かすことができるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分自身の生活を振り返ったり、自分の考えを深めたりする場面が多く設けられており、生活に生かそうとする態度を育成できるように工夫がされている。</li> <li>○各章末に学習のまとめ「生活に生かそう」が設けられており、主体的に学習に取り組む態度の育成ができるように工夫がされている。</li> <li>○教科書の最後に「選択」が設けられており、これまでの学習を基によりよい生活を創造しようとする態度を養うための工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実習や生活で必要となる基礎的な技能が分かりやすく掲載されている。</li> <li>○選択できる実習例が多く掲載されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文と資料は「資料マーク」で区別され、ページ下には学習内容の関連豆知識を「せいかつメモ」として記載され、レイアウトが工夫されている。</li> <li>○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピュータを用いたワークシートやシミュレーションや思考ツール等、学習効果を高めるための工夫がされている。</li> <li>○基礎的・基本的な実習例のほか、生徒の実態に合わせて資料を選択することができるように工夫がされている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きごとに「目標」と「学習課題」が掲載されている。</li> <li>○実習例では写真や図を使用し、安全・衛生の注意事項にマークを表記している。食物アレルギー物質を含む食材には記号が表記されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインフォントや、色彩特性に配慮されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンス後、B(衣食住の生活)、C(消費生活・環境)、A(家族・家庭生活)の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。</li> </ul>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>技術・家庭 家庭分野</b> <b>暮らしを創造する</b></p>	<p style="text-align: center;">6 教 図</p>
<p>内 容</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                  ○見開きごとに、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「振り返る」の4段階で構成され、問題解決的な学習を進めれば知識・技能が習得できるように工夫がされている。                  ○学習のまとめりごとに「学習の振り返り」が掲載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫がされている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○実習題材では中学生に身近なレシピを多数示してあり、家庭生活につながるよう工夫がされている。                  ○自分ごととして捉えられる内容の導入から始まり、問題解決的な学習の流れを明確にするような工夫がされている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○「自分の課題を見つけ工夫し生活する」ための実践例が多く記載されており、実践しやすいように工夫がされている。                  ○学習内容に関わりのある人からのメッセージやインタビューを紹介し、QRで動画も視聴できるなど、社会とのつながりについて考えられるように工夫がされている。                  ○問いかげが多く設けられており、自分の生活から課題を見つけるきっかけになるように工夫がされている。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b>                  ○実態に応じて活用できるように、様々な実習例が分かりやすく掲載されている。                  ○他領域と関連付けた実習例が多く掲載されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○本文と資料はマークで区分されて、視覚的な資料を掲載するなどレイアウトに工夫がされている。                  ○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピュータを用いたワークシートや計算ツール、食品シールの付録等、学習効果を高めるための工夫がされている。                  ○調理の実習例では、食物アレルギーに対応した代替レシピが記載され、生徒の多様性に沿った工夫がされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○二次元コードの横にデジタルコンテンツの内容が表記されている。                  ○実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項にマークを表記している。食物アレルギー物質を含む食材には下線が記され、代替食材も記載されている。                  ○色遣いや図の見やすさ等、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○ガイダンス後、A(家族・家庭生活)、B(衣食住の生活)、C(消費生活・環境)の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。</p>	

書名 項目	<p style="text-align: center;"><b>技術・家庭 家庭分野</b> <b>自立しともに支え合う生活へ</b></p>	<p style="text-align: center;">9 <b>開隆堂</b></p>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「調理の基礎」や「製作の基礎・基本」で基礎的な技能がまとめて掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫がされている。</li> <li>○内容のまとめりに「学習のまとめ」が掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タイトルで何を学ぶのかが示され、科学的根拠に基づき、視覚的に理解しやすいようにまとめられており、学習の見通しがもてるように工夫がされている。</li> <li>○興味・関心・疑問から、人やもの、事柄と対話し課題解決に向かう力を培えるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ロールプレイングや触れ合い体験、高齢者インタビューや実際の中学生の取組や地域の取組など、人との関わりについて考えることができるように工夫がされている。</li> <li>○各章末に学習のまとめを設けており、その中で「やってみたい、もっと知りたい、深く考えてみたい」と感じさせるように工夫がされている。</li> <li>○生活の中での課題を考える場面が多く設定されており、自身の課題を見つけ主体的に取り組めるように工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実習例だけでなく、個に応じて深められる内容が掲載されている。</li> <li>○資料が豊富で発展的な学習につながるような工夫がされている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文と資料は「参考マーク」で区別され、奇数ページの右上に学習内容の関連写真や名称、各ページ下には豆知識が掲載され、レイアウトに工夫がされている。</li> <li>○実物大写真や多様なデジタルコンテンツが参照でき、基礎縫い動画は左利きの生徒にも対応し、学習効果を高めるための工夫がされている。</li> <li>○科学的な見方・考え方が示してあったり、統計資料やグラフを用いて説明の根拠が示してあったりして、学習効果を高めるための工夫がされている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きごとに「学習の目標」が記載されている。</li> <li>○調理実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項のマークを表記していたり、食物アレルギー物質を含む食材には黄色を付したりして注意を促す表記がされている。</li> <li>○読みやすい文章や書体、大きさ、カラーバリアフリーに配慮されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンスの後、A(家族・家庭生活)、B(衣食住の生活)、C(消費生活・環境)の順の内容の配列になっており、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。</li> </ul>	

## 技術・家庭科（家庭分野） 調査資料 2

### ○分量について

内容	東書	教図	開隆堂
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	298	296	314
2 QRコードの数	144	73	91

### ○項目別ページ数について

#### <A 家族・家庭生活>

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 自分の成長と家族・家庭生活	2	2	4
(2) 幼児の生活と家族	34	31	36
(3) 家族・家庭や地域との関わり	16	21	26
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践	2	2	2

#### <B 衣食住の生活>

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴	6	12	16
(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事	16	20	10
(3) 日常食の調理と地域の食文化	52	56	56
(4) 衣服の選択と手入れ	24	22	26
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作	20	20	16
(6) 住居の機能と安全な住まい方	18	20	22
(7) 衣食住の生活についての課題と実践	3	4	5

#### <C 消費生活・環境>

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 金銭の管理と購入	14	24	10
(2) 消費者の権利と責任	8	16	16
(3) 消費生活・環境についての課題と実践	1	2	1

### ○学習指導要領との関連について

内容	東書	教図	開隆堂
(1) ガイダンスに関する内容のページ数	8	8	14
(2) 日本の生活文化に関する内容の掲載箇所	16	30	22
(3) 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の掲載箇所	25	6	5
(4) 問題解決的な過程を重視した学習の充実を図る内容の掲載箇所	84	143	93
(5) 言語活動の充実を図る内容の掲載箇所	103	80	61

### ○配慮事項について

内容	東書	教図	開隆堂
(1) キャリア教育についての配慮がされている箇所	17	13	18
(2) コンピュータや情報通信ネットワークの活用を図った箇所	144	73	91
(3) 防犯意識を高める工夫がされている箇所	8	12	14
(4) 特別支援の観点への配慮がされている箇所	教科書全体	教科書全体	教科書全体

### ○その他

内容	東書	教図	開隆堂
(1) 題材数	19	11	27
(2) 製作品・調理実習の例示数	14・53	7・52	11・50
(3) 観察・実験、見学、調査・研究の例示数	60	66	56
(4) 安全・衛生に配慮する項目を取り上げている箇所数	13	45	27